

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービスにじいろ				支援プログラム（参考様式）		作成日		令和7	年	4	月	1	日			
法人（事業所）理念		一人ひとりの子どもの個性や発達段階を尊重し、安心して過ごせる環境の中で、子ども自身が「やってみたい」「できた」と感じられる経験を積み重ねられる支援を行います。子どもの現在の姿だけでなく、将来の生活や社会参加を見据え、本人の強みを生かしながら、自立と成長を支えていきます。																
支援方針		子ども一人ひとりの発達段階、特性、生活状況、本人や家族のニーズを把握し、個別支援計画に基づいた支援を行います。遊びや体験、個別課題、集団活動等を通して、5領域を総合的に捉えながら、生活に必要な力、身体の使い方、認知・行動、コミュニケーション、人との関わりを育てます。子どもが安心して失敗や挑戦ができる環境を整え、できたことや努力したことを認めることで、自己肯定感や主体性を育みます。																
営業時間			9	時		0	分	から	18	時		00	分	まで	送迎実施の有無		あり	なし
		支 援 内 容																
本人支援	健康・生活	来所後の身支度、荷物の整理、手洗い、片付け、時間の確認等を通して、基本的な生活習慣を身につけられるよう支援します。また、自分の体調や疲れに気づき、必要に応じて休憩を取る、職員に伝える等、自分の状態を調整する力を育てます。																
	運動・感覚	運動遊び、サーキット、身体を使った遊び、ストレッチ、制作活動等を取り入れ、身体の動かし方、姿勢、バランス、手先の操作等の発達を促します。																
	認知・行動	パズル、間違い探し、カードゲーム、ルールのある遊び、課題活動等を通して、見る・聞く・考える・記憶する・選択する等の力を育てます。活動の手順や予定を分かりやすく提示し、見通しを持って行動できるよう支援します。																
	言語コミュニケーション	日常の会話、発表、質問への応答、絵カード等を活用し、自分の気持ちや考えを相手に伝える力、相手の話を聞いて理解する力を育てます。必要に応じて、言葉だけでなく絵や身振り等、その子に合ったコミュニケーション方法を取り入れます。																
	人間関係社会性	集団活動や遊びを通して、順番を待つ、ルールを守る、相手と協力する、自分の気持ちを調整する等の経験を積みます。友達との関わりの中で、相手の気持ちや考えを知り、適切な関わり方を身につけられるよう支援します。																
家族支援		日々の利用時の様子や成長、困りごと等について保護者と情報共有を行います。家庭での様子や保護者の相談を踏まえ、家庭で取り組みやすい方法を一緒に考えます。必要に応じて学校、医療、相談支援事業所等の関係機関と情報共有を行い、子どもを取り巻く環境全体を考えた支援につなげます。							移行支援		就学、進級、進学、卒業等の環境変化を見据え、本人が安心して次の環境へ移行できるよう支援します。必要に応じて学校や関係機関と情報共有を行い、本人の特性や必要な支援について引き継ぎを行います。							
地域支援・地域連携		学校、相談支援事業所、医療機関、行政等の関係機関と連携し、子どもの発達や生活について必要な情報共有を行います。地域での外出や社会体験等を通して、地域社会との関わりを経験できる機会を提供します。							職員の質の向上		職員間で子どもの支援について情報共有を行い、支援方法の検討や振り返りを行います。発達支援、虐待防止、身体拘束等の適正化、感染症対策、事故防止、BGP、リスクマネジメント、コンプライアンス等に関する研修を実施し、職員の専門性及び支援の質の向上に努めます。							
主な行事等		・季節の行事・制作活動・運動遊び・集団ゲーム・SST・コミュニケーション活動・調理・食育活動・買い物等の社会体験・外出・戸外活動 ・誕生日活動・自由遊び・余暇活動・その他、子どもの発達や興味に応じた活動																